科目名 Subject	ファッション文化史 History of Fashion and Art Culture		教員名	青木　和子	
開講年次	2	開講時期	後期	単位	1
必修／選択	必修	授業形態	講義	時間	30
実践的教育	○				
主な学習効果	知識・技能	思考力・判断力	表現力	主体的行動力	ホスピタリティ・コミュニケーション力
	◎	△	○	○	○
科目の概要	ひとは自分を飾らないではいられない。ひとは流行を意識しないで生きることができない。この科目では、本学の「美道五大原則」の全ての項目や「美齢学」を意識した講義を基軸に、人が「何か」を身体につけた時代から今の時代に至るまでの日本と西洋のファッション文化史を学ぶことにより「美」とは「文化」とは何かを考える。				
授業の目標	上の概要を踏まえ「ファッション文化」が概観でき、美容産業で活躍できるレベルに達している。「美容文化論」の美容師国家試験合格のレベルに達している。ファッション文化を自分なりの見解で説明できる。				
時間外学習 （予習・復習）	予習：授業では、教科書の内容が理解されていることを前提に説明を開始する。 復習：本授業は座学であるため、授業の復習は次回の授業へ向けて重要なものとなる。各授業後、1時間程度の復習を行うことが必要である。				
教科書・教材	教科書	「美容文化論」日本理美容教育センター			
	教材	学生全員に配布のiPad、配布プリント、			
	使用設備・備品	プロジェクター　他			
	参考文献	授業時に説明			
評価方法	平常点50%（毎時の授業態度及び小テスト）、レポート25%、試験25%				
	なお、出席数が不足の場合は評価対象とはしません。				
学生へのフィードバックの方法	定期試験の要点について、掲示にて解説を行います。				
	特に美容師国家試験に合格するための問題理解と解答の仕方の強化指導を行います。				
履修上の注意	積極的に履修し理解しようとする姿勢が重要です。 またフォーマルスペシャリスト・ブロンズライセンス検定が受験できます。（試験料別途）				
本科目履修と関連する資格	資格名	フォーマルスペシャリスト・ブロンズライセンス			

授業計画			
	授業内容	到達目標	予習・復習・備考
第１回	日本編　縄文時代から古代	縄文時代から古代までのファッション文化史が概観できるようになる	事前にタブレットで授業内容を確認。 予習60分。復習60分。
第２回	日本編　中世から近世Ⅰ	中世から近世Ⅰまでのファッション文化史が概観できる	事前にタブレットで授業内容を確認。 予習60分。復習60分。
第３回	日本編　近世Ⅱ	近世Ⅱのファッション文化史が概観できる	事前にタブレットで授業内容を確認。 予習60分。復習60分。
第４回	日本編　近代	近代のファッション文化史が　概観できる	事前にタブレットで授業内容を確認。 予習60分。復習60分。
第５回	日本編　現代Ⅰから現代Ⅱ	現代Ⅰから現代Ⅱまでのファッション文化史が概観できる	事前にタブレットで授業内容を確認。 予習60分。復習60分。
第６回	日本編　現代Ⅲから現代Ⅳ	現代Ⅲから現代Ⅳまでのファッション文化史が概観できる	事前にタブレットで授業内容を確認。 予習60分。復習60分。
第７回	西洋編　古代エジプトから　中世ヨーロッパ	古代エジプトから中世ヨーロッパまでのファッション文化史が概観できる	事前にタブレットで授業内容を確認。 予習60分。復習60分。
第８回	西洋編　近世Ⅰから近代Ⅰ	近世Ⅰから近代Ⅰまでのファッション文化史が概観できる	事前にタブレットで授業内容を確認。 予習60分。復習60分。
第９回	西洋編　近代Ⅱから現代Ⅲ	近代Ⅱから現代Ⅲまでのファッション文化が概観できる	事前にタブレットで授業内容を確認。 予習60分。復習60分。
第１０回	西洋編　現代Ⅳから現代Ⅶ	現代Ⅳから現代Ⅵまでのファッション文化史が概観できる	事前にタブレットで授業内容を確認。 予習60分。復習60分。
第１１回	復習Ⅰ	ファッション文化史・日本編が概観できる	事前にタブレットで授業内容を確認。 予習60分。復習60分。
第１２回	復習Ⅱ	ファッション文化史・西洋編が概観できる	事前にタブレットで授業内容を確認。 予習60分。復習60分。
第１３回	復習Ⅲ	ファッション文化史が概観　できる	事前にタブレットで授業内容を確認。 予習60分。復習60分。
第１４回	総復習Ⅰ	ファッション文化史・日本編　が客観的に理解できる	ファッション文化史・日本編をまとめ、 全体を復習する。
第１５回	総復習Ⅱ	ファッション文化史・西洋編　が客観的に理解できる	ファッション文化史・西洋編をまとめ、 全体を復習する。